

6/4
(木)

いわみーる

結集！ コーディネーター・担当者研修

～ありたい地域の姿・ありたい子どもの姿～

【講義】「地域と学校をつなぐときに、大切にしたいこと」 【講師】 一般社団法人コムスクエひめ代表理事 西村 久仁夫 さん
地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的推進に向け、私たちコーディネーター人材に求められる考え方や動きについて示唆をいただきました。

■ 目指す方向性と求められる役割

目指す方向性：学校と地域が一体となって「子どもの未来をつくり、地域の未来をつくる」こと。

求められる役割：「地域の志」を探し出し、協働活動をつくること。そして、協働活動の要として、学校運営協議会へ参画することです。

■ コーディネーターとして大切にしたいこと

「作業」ではなく「思い」をつなぐ：単に人を手配するだけでなく、「なぜこの授業をするのか」という思いを伝え、ビジョンを共有します。

理解と共感による信頼関係を築く：学校がやりたい教育を地域に開示することで、協力しようという気持ちが生まれます。

■ 学校と地域をスムーズにつなぐ「具体的な仕組みづくり」

学校の要望の見える化（活動シートの活用等）と、時間を区切った**定期的な打ち合わせ**を行います。

活動中の子どもや地域の方の「生き生きとした笑顔」を写真に残し、成果を見える化します。



【説明】「『結集！しまねの子育て協働プロジェクト』について」 学校にとっても地域にとってもコーディネーター役を担うみなさんの存在は大きい 島根県教育庁社会教育課 石橋 圭子

■ 「結集！しまねの子育て協働プロジェクト」の事業目的

学校・家庭・地域が連携・協働しながら、地域総がかりで子どもの成長を支え、地域を創生する活動を推進する

■ 「結集！しまねの子育て協働プロジェクト」大切にしたい視点

- 1 多様な人々の参加（あなたの知識や経験は地域にとっても宝物です）
- 2 対話（活動で出会った人との対話は活動に活動や価値を生み出す）
- 3 コーディネートする人（人與人、学校と地域）
- 4 会議体の活性化（思いを共有する）



【実践発表】「社会教育コーディネーター元年度のトライ」

益田市桂平小学校 ふるさと・ひとつなぎコーディネーター 岩坂 菜月 さん
益田市教育委員会 ひとつづくり推進課 石川 英樹 さん



益田市のふるさと・ひとつなぎ
コーディネーターのミッション

- ①学校を拠点とし、学校や児童・生徒のニーズを把握し、放課後・休日・長期休業期間を中心とした学習活動をつくる
- ②地域資源を活かした体験活動をつくる
- ③多世代を巻き込んだ新たなつながりをつくる

岩坂さんがコーディネーターとして大切にしていること

- ①地域（ひと）を知る
→会いにいく、会える場をつくる
- ②地域（歴史）を知る→読む、聞く
- ③仲良くなる（信頼関係）
→話を聞く、話をする
- ④実現へ向けて、一緒に考える→声を拾う



岩坂さんの実践発表について感想や気づいたことをグループで共有

【実践共有タイム】「みんな何してる？実践アイデアトーク」 ※グループでフリップトーク!!

■ コーディネートするとき、あなたが一番大切にしたいことは？



一緒に楽しむ

話しやすい空間



■ 実践するための作戦や工夫、しかけやこつ

【ふり返り】「あなたが明日から大切にしたいことは」



【アンケートから】

- ・岩坂さんのお話では、地域目線での関わりが聞けたので良かったです。しっかりつなぎ、お互いの力を引き出しながら活動につなげる。ほどよい関わり方のコーディネーターがステキだなと感じました。
- ・思いをつなぐ、目的・ビジョンの共有が大切だと思いました。
- ・他地域のみなさんとお話をさせていただくといつも視野が広がります。
- ・コーディネーターの役割が理解できました。また公民館とのつながりも具体的にイメージができました。自分も笑顔で、地域の方、子どもたちが笑顔になれる時間をつくる仕事をしていきたい。